2027 年度

東京音楽大学

一般科目等履修生

募集要項

東京音楽大学

2027 年度 東京音楽大学 一般科目等履修生
募集要項

1. 一般科目等履修生制度について

本学音楽学部の特定の授業科目と実技科目の履修・単位修得を認める制度です。

2. 履修可能科目

（1）授業科目（講義形式。本学の指定した科目のみ履修可能）
（2）実技科目（声楽実技、ピアノ実技、弦楽器実技、管楽器実技、打楽器実技）
※（1）（2）を同時に履修することも可能
学士課程学生の教育研究に支障が生じない範囲内で、上限 20 単位まで許可されます。
具体的な履修可能授業科目については、個別にお問い合わせください。
問合せ先：教務課　03-6455-2750

3. 募集楽器等・募集人員

楽器名等	募集人員
●声楽	若干名
●ピアノ	
●ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ、クラシックギター	
●フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン ●ホルン、トランペット、トロンボーン、テューバ、ユーフォニアム	
●打楽器	

4. 出願資格

次の1.～3.の条件のいずれか一つに該当する者とします。

1. 高等学校または中等教育学校を卒業した者および 2027 年 3 月卒業見込みの者
2. 高等専門学校の 3 年次を修了した者および 2027 年 3 月修了見込みの者
3. 高等学校または中等教育学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認めた者

※上記1.～3.に加え、外国籍の方は、以下4. に該当していること（「永住者」を除く）。
4. 2028 年 3 月 31 日まで長期滞在可能な在留資格を有する者で、原則として日本語能力試験（JLPT）N2 以上に合格している者、または日本留学試験(EJU)「日本語」（読解、聴解および聴読解のみ。記述を除く）で 200 点以上を取得している者

※本学卒業生・修了生、2027 年度本学在学予定の方は出願できません。

5. 選考方法

書類審査、実技試験（授業科目のみ履修希望の場合は除く）および面接で選考します。
実技試験および面接の課題は「12. 試験科目」を参照してください。
本学教員による推薦がある場合には、実技試験および面接が免除になる場合があります。

6. 検定料

20,000 円
出願期間内にWeb出願サイトから決済手続きをしてください。お支払い完了後に決済完了メールが送信されます。
※一旦納入された検定料は返金いたしません。

7. 日程一覧

●試験会場・日程の詳細は、試験初日の 3 日前までに、メール等でお知らせします。試験日時・会場に関する電話やメールでのお問合せはご遠慮ください。なお、期日を過ぎてもメールが届かない場合のみ、迷惑メールフォルダをご確認の上、入試課までご連絡ください。
●ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス志願者は、入学試験期間中に伴奏合わせを行います。
●合否は、Web 出願サイトにて発表します。電話等による問い合わせには応じません。

出　願　期　間	2027 年 1 月 6 日(水)～1 月 18 日(月) 消印有効
試　　験	2027 年 2 月 16 日(火)～2 月 20 日(土)のいずれか 1 日
合 格 者 発 表	2027 年 2 月 26 日(金)15:00～2 月 28 日(日)17:00
登 録 手 続 期 間	2027 年 2 月 27 日(土)～3 月 5 日(金) 消印有効

受験上・修学上の配慮を希望する志願者について
疾病や障がいなどにより受験時や入学後の修学において特別な配慮が必要な場合、個別の状況に応じて必要かつ合理的な配慮を検討し、適切な支援を行っております。

合理的な配慮を希望される方は、URL もしくは QR コードより内容をご確認の上、申請を期日までに行ってください。

[URL]
https://www.tokyo-ondai.ac.jp/information/43807.php

[期日]
2026 年 11 月 30 日(月)必着

学校保健法で出席の停止が求められている感染症に関する注意事項について

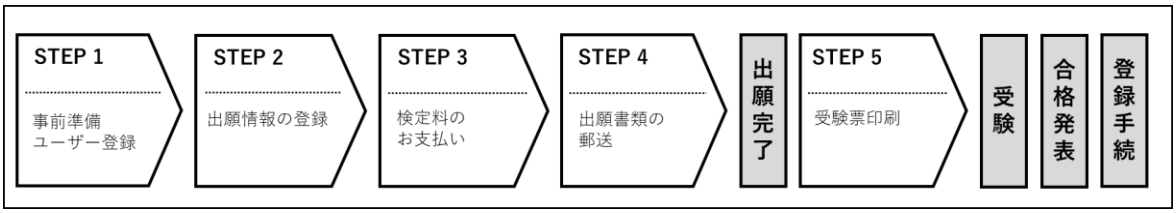
学校保健安全法で出席停止が定められている感染症(新型コロナウイルス・インフルエンザ・はしか等)にかかり治癒していない場合、その感染症が他の受験者や試験監督者等に広がるおそれがありますので、入学試験を受験することはできません。また、試験当日の検温により発熱があった場合や、通常とは異なる体調不良があり感染症に罹患している可能性がある場合も、受験をご遠慮願います。ただし、病状により医師が伝染の恐れがないと判断した場合は、この限りではありません。
上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、原則として、追試験等の特別措置および入学検定料の返還は行いません。試験当日の体調には十分に注意してください。
なお、感染状況等により事情が変わった場合には、改めてホームページ等でお知らせします。

8. 出願手続

(1)出願の流れ

出願方法は Web 出願のみです。
本学ホームページの「入試案内(学部)」にある「出願ガイド」内の「出願情報の登録」より、以下の手順に沿って出願を行ってください。
※出願書類の郵送を終えて出願完了となります。

出願ガイド
https://www.tokyo-ondai.ac.jp/webentry/



STEP 1

① Web 出願にあたっての事前準備(詳しくは「出願ガイド」をご覧ください)

□ インターネットに接続しているパソコン、タブレット、スマートフォンのいずれかの機器
□ メールアドレス

> 各キャリアのメールアドレスを使用する場合は、ドメイン「@contact.mescius.com」「@sbpayment.jp」「@tokyo-ondai.ac.jp」からのメール受信ができるように設定を行ってください。
> 試験用に新たに作成される場合はフリーアドレス(@yahoo.co.jp や@gmail.com 等)の取得を推奨します。

□ プリンター*
□ PDF 表示・印刷ソフトウェア
□ 本人写真(カラー写真データ)
＊自宅にプリンターがない場合、コンビニエンスストア等のマルチコピー機を使用してください。

② 「出願ガイド」からユーザー登録を行う

同サイト内の「Web 出願サイトはこちら」からユーザー登録を行ってください。
(「出願ガイド」:https://www.tokyo-ondai.ac.jp/webentry/)
※外国籍の方はパスポート、在留カードあるいは住民票に記載の氏名を姓(Family Name)名(First Name)の順にアルファベットで入力してください(漢字は不可)。ただし、在留カードあるいは住民票の氏名表記が漢字のみの場合は、漢字での入力も可能です。
フリガナについては、 通常使用する読みをカタカナで入力してください。
※今年度本学受験講習会等で登録をしている方は再登録不要です。
※昨年度以前メールアドレス登録画面で「□来年度もこのメールアドレスを利用する」にチェックを入れた場合は再登録不要です。

③ 出願書類を確認・準備する

募集要項に記載されている必要な書類を確認・準備してください。

STEP 2

「出願ガイド」から出願登録を行う

募集要項、「出願ガイド」を確認した上で、同サイト内の「Web 出願サイトはこちら」から出願登録を行ってください。

STEP 3

検定料のお支払い

「コンビニエンスストア」、「クレジットカード」、「Pay-easy」で期限までに検定料をお支払いください。
※検定料のほかに支払手数料が必要です。

STEP 4

出願書類の印刷・記入および出願書類郵送

①Web 出願サイトから志願票・宛名ラベルをダウンロードし、ページの拡大縮小はせずに A4サイズで印刷してください。

②本学ホームページ「入試案内（学部）」から「出願書類ダウンロード」を選択し、受験する入学試験の必要書類を印刷・記入してください。「出願書類チェックリスト」を使用して、出願書類がすべて揃っているか確認し、他の書類と一緒に提出してください。

（「出願書類ダウンロード」：https://www.tokyo-ondai.ac.jp/examinee/exam）

③レターパックライトを使用して、表面に宛名ラベルを貼り、出願書類を郵送してください。

※レターパックはポスト投函できますが、出願期限最終日に郵送する場合は、郵便局の窓口に出すことをお勧めします。

郵送をもって出願完了となります。

※海外から日本への郵便到着に不安がある方は、事前に提出書類の PDF をメール添付やファイル送信サービスにて本募集要項最終ページ記載の「問い合わせ先」のメールアドレスに送付することができます。ただし、PDF のメール送付だけでは、出願受付はできませんので必ず出願期間内に郵送してください。

STEP 5

受験票の印刷

東京音楽大学から「受験票印刷のお知らせメール」※が届いたら、受験票の記載事項が志願票に入力した内容と一致しているか確認し、メールの案内に従って「受験票」を印刷してください。

試験日程詳細は別途メールにて送信します。内容をご確認の上、試験会場にお越しください。

受験票は、試験当日持参してください。

※メールが届かない場合は、Web 出願サイトにログオンし「受験票印刷」から印刷してください。

(2)出願書類一覧

出願期間内に以下の該当する書類を一括して、宛名ラベルを貼付けの上、「レターパックライト」で郵送してください。なお、以下の書類は「A.Web 出願サイト」または「B.出願書類ダウンロード」よりダウンロードし印刷してください。

（「出願ガイド」内「Web 出願サイトはこちら」からアクセス）

A. Web 出願サイト（ユーザー登録・出願情報の登録、志願票・宛名ラベル印刷）
https://lsg.mescius.com/tokyo-ondai/App/Account/login

B. 出願書類ダウンロード
https://www.tokyo-ondai.ac.jp/examinee/exam

①出願書類 1～2 は前頁 A のURLから印刷してください。

	出願書類	対象	注意事項
1	志願票	全楽器	検定料支払い完了後に印刷してください（拡大・縮小せずA4で印刷）。 ※カラー印刷してください。
2	宛名ラベル		日本国内から書類を発送する場合はレターパックに貼り付けてください（拡大・縮小せずA4で印刷）。 ※カラー印刷してください。

②出願書類 3～6 は前頁BのURLから一般科目等履修生の様式を印刷してください。

	出願書類	対象	注意事項
3	曲目記入票	声楽、ピアノ、弦楽器、ファゴット、サクソフォーン、トランペット、ユーフォニアム、マリンバ	志望する実技科目の様式より、該当するものを提出してください。
4	志望理由書	全楽器	本学所定の書式で提出してください。
5	履歴書		
6	出願書類 チェックリスト		出願書類を郵送する前に各書類が揃っているかチェックし、出願書類と共に提出してください。

③出願書類 7～11 は志願者本人が作成したもの、または高等学校等が発行したものを提出してください。

	出願書類	対象	注意事項
7	伴奏譜	声楽、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス	伴奏譜を出願書類に同封してください。伴奏譜の作成方法は「伴奏譜の提出について」を参照してください。
8	最終学歴の卒業（見込）証明書または在学証明書	全楽器	出身高等学校発行のものを提出してください（コピー不可）。 外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者、国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア（フランス共和国）、GCE Aレベル、国際Aレベル、欧州バカロレアの各資格は当該試験等の成績証明書（日本語または英語によるもの）を提出してください。提出方法は「卒業証明書・成績証明書提出上の注意事項」を参照してください。
9	パスポートのコピー	日本国外在住の外国籍志願者	氏名・生年月日・パスポート番号・写真・有効期限のページをA4サイズの用紙にコピーして提出してください。ビザのページではありません。
10	在留カードのコピーまたは住民票	日本国内在住の外国籍志願者	出願時に有効な在留カードのコピーまたは住民票を提出してください。 ※在留カードのコピーを提出する場合は、裏面に記載事項がなくても、必ず表・裏両面をA4サイズの用紙にコピーしてください。 ※住民票を提出する場合は、在留資格・在留期間・在留期間満了日の記載を含むもので、出願時の3か月以内に発行されたものを提出してください。

11	日本語能力の証明書	外国籍志願者	該当者は、日本語能力の証明書を提出してください。 ・日本語能力試験（JLPT）の場合：日本語能力試験N1 またはN2 の「認定結果及び成績に関する証明書」の原本 ※「日本語能力認定書」の提出は必要ありません。 ※日本語能力試験合格証明書の発行が出願期間に間に合わない場合、合格したことがわかるもの（合格画面のスクリーンショット等）の画面を原本の代わりに印刷し、原本をいつまでに提出できるかメモに書いて貼付け、他の出願書類と一緒に郵送にて提出してください。 ・日本留学試験（EJU）の場合：受験票のコピー ※成績は、有効期間以内（試験日が過去2年以内）、かつ出願期間最終日までに確認ができるものを有効とします。

【注意】

※ 外国語（英語を除く）で書かれた証明書や文書等がある場合、日本語訳または英語訳および公正証書を添付してください。公正証書は大使館等の公的な機関で発行されたものに限ります。証明書の提出方法等について「（3）卒業証明書・成績証明書提出上の注意事項」をご参照ください。

※ 出願後の提出書類の変更は認めません。また、提出された書類や検定料等は返還しません。ただし、住所・氏名・電話番号に変更があった場合は、すみやかに入試課へご連絡ください。

※ 出願書類がすべて揃っていない場合、出願期間を過ぎたものは受け付けできませんので注意してください。

（3）卒業証明書・成績証明書提出上の注意事項

①中国の高等学校を卒業した方

[卒業証明書]

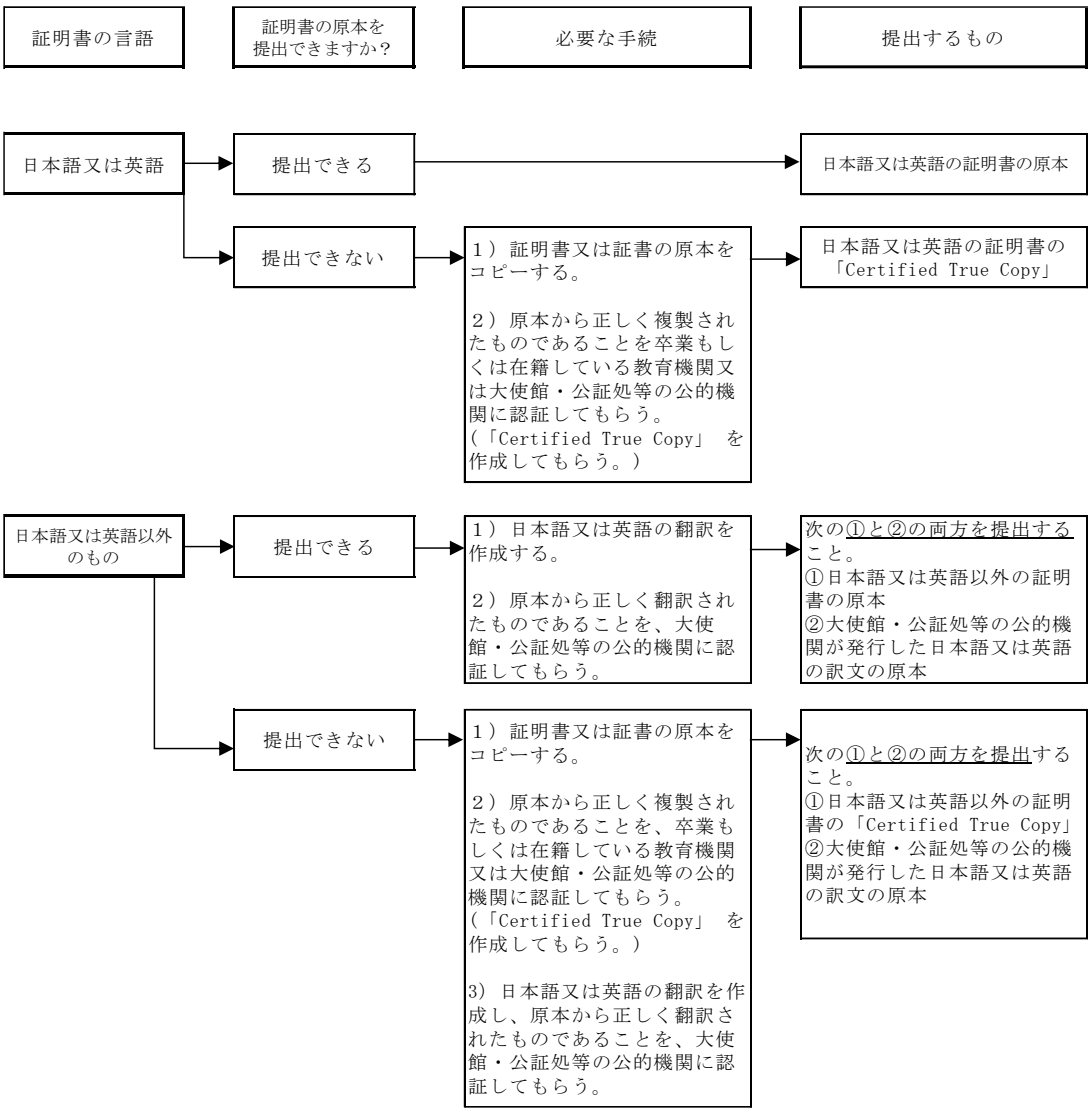
・中国教育部学歴認証センターまたは、中国教育部学歴認証センター日本代理機構（http://www.chsi.jp/）が発行する英文の「学歴認証報告書」を提出してください。
・高等学校発行の証明書やその翻訳は出願書類として認められません。
・「学歴認証報告書」は、CHSI から直接「nyushi@tokyo-ondai.ac.jp」にメールで届くよう、手続きを行ってください。英文以外の認証報告書や、出願者本人が受領し、本学へ転送した認証書は無効とします。
・認証機関の発行の遅れによって提出が間に合わない場合でも出願が認められない可能性があります。発行まで1か月程度かかるため、時間に余裕をもって発行申請を行ってください。
・教育制度（国際部等）により、「学歴認証報告書」が提出できない場合は、①高等学校が発行する卒業証明書、②本学指定の「CHSI 学歴認証報告書不発行申請書」を「B. 出願書類ダウンロード」より印刷・記入の上、提出してください。なお、その場合は証明書に「国際部であるため」等、理由が記載されている必要があります。
・高等学校卒業見込みの方は、高等学校が発行する卒業見込み証明書を提出し、卒業後「学歴認証報告書」を提出してください。

[成績証明書]

・高等学校が発行する成績証明書の原本を提出してください。注意事項は「②中国以外の高等学校を卒業した方」と同様です。

②中国の高等学校以外の教育機関を卒業した方

・卒業証明書、成績証明書等の証明書類は原本（卒業もしくは在籍している教育機関が発行し、証明した書類）、または教育機関・大使館・公証処等の公的機関より原本からの正しい複製であるという証明（Certified True Copy）を受けた書類を提出してください。
・日本語または英語以外の言語で記載された証明書は、大使館・公証処等の公的機関または、翻訳者としての資格を有する翻訳者による翻訳文を原本に添付してください。
・すべての提出書類の氏名・生年月日等はパスポートの記載と一致しているものを提出してください。



(4)提出先

〒153-8622 東京都目黒区上目黒 1-9-1 東京音楽大学入試課 TEL 03-6455-2754

9. 試験会場

＜アクセス＞

・東京音楽大学　中目黒・代官山キャンパス(東京都目黒区上目黒 1-9-1)
・東京音楽大学　池袋キャンパス(東京都豊島区南池袋 3-4-5)
※試験会場・日程の詳細はメールで送信する案内を参照してください。

10. 登録手続

合格者には、出願時に登録した住所に登録手続書類を郵送します。
登録した住所以外に郵送を希望する場合は、合格発表期間前に入試課へご連絡ください。
登録手続の流れは以下のとおりです。

【1】登録料・施設費の納入 → 【2】登録手続書類郵送 → 【3】登録許可

(1)登録料・施設費の納入・期間

2027 年 2 月 27 日(土)～3 月 5 日(金)までに登録料・施設費を納入するとともに、下記書類を簡易書留またはレターパックにて郵送してください。最終日の消印有効。

※登録料・施設費の納入期日は、必ず大学の口座に入金される日であること。
※上記の期間内に手続を完了しない者は、登録の意志がないものとして合格を取り消します。
※履修料は入学後に納入となります。

(2)登録手続に必要な書類

①誓約書・個人情報の取扱いに関する同意書(本学所定の用紙)
②高等学校卒業証明書(高等学校卒業以外の者は資格証明書、高等学校卒業程度認定試験および大学入学資格検定合格者は合格証明書)
※2027 年 3 月卒業見込みの者は、卒業後提出
③学生証用写真
④その他本学が提出を指示したもの
※詳細は登録手続書類に同封される案内をご確認ください。
※登録資格を満たせなかった場合は、その旨をすみやかに入試課にご連絡ください。
※提出された書類の記載事項に虚偽が判明した場合、合格または登録を取り消します。

(3)登録許可

手続きを完了した者には、登録許可書を交付します。

(4)登録辞退

登録を辞退する場合は、2027 年 3 月 30 日(火)11:30 までに入試課に申し出てください。
なお、納入済みの登録料はいかなる理由があっても返還しません。
手続方法の詳細は、登録手続書類に同封される案内をご確認ください。

11. 履修料その他の納入金

	金額	備考
登録料 (初年時のみ)	130，000円	
履修料	50，000円　×履修単位数	年間の履修上限 20 単位
施設費 (年間)	50，000円	

履修料および履修料の取り扱いは、今後変更となる場合があります。

12. 試験科目

声楽

1. 実技試験

下記の専攻実技の課題を演奏すること。演奏箇所は当日試験委員が指定する。試験委員からの合図があるまで演奏すること。

(1)課題曲:次の課題曲表から3曲を選ぶこと。その中から当日1曲を指定する。

※歌詞は原語で暗譜で歌うこと。
※演奏の途中で打ち切る場合がある。
※( )内のアルファベットは調性を表す。これら以外の調で歌う場合は移調譜を出願書類と共に提出すること。
※伴奏者は大学が用意する。

No.	曲　名	作曲者
①	Già il sole dal Gange （ B, As, G ）	A. Scarlatti
②	Se tu della mia morte （ g, f, e ）	A. Scarlatti
③	Sento nel core （ g, f, es ）	A. Scarlatti
④	Lasciar d'amarti （ g, f, d ）	F. Gasparini
⑤	Star vicino （A, B, G）	L. Mancia(伝 S.Rosa)
⑥	Sebben, crudele （ e, d, c ）	A. Caldara
⑦	Vergin, tutto amor（d, c, h)	F. Durante
⑧	Nina （g, fis, e, d）	作曲者不詳
⑨	Nel cor più non mi sento （F, G）	G. Paisiello
⑩	Sogno （ B, As, Ges ）	F. Tosti
⑪	An Chloe （ Es, C ）	W. A. Mozart
⑫	Ich liebe dich （ G, F ）	L. v. Beethoven
⑬	An die Musik （ D, C, B ）	F. Schubert
⑭	Geheimes （ As, F, Es, D ）	F. Schubert
⑮	Lachen und Weinen （ As, F, E ）	F. Schubert
⑯	Die Lotosblume （ F, Es, Des ）	R. Schumann
⑰	Widmung （ As, Ges, F ）	R. Schumann
⑱	Dein blaues Auge （ Es, D ）	J. Brahms
⑲	Sonntag （ G, F, Es ）	J. Brahms
⑳	Zueignung （ C, A, G ）	R. Strauss
㉑	秋の月［山田耕筰 編曲］（ h ）	滝 廉太郎
㉒	荒城の月［山田耕筰 編曲](1,2番)（ d, c ）	滝 廉太郎
㉓	母（ As, G, F ）	小松 耕輔
㉔	この道（1,2番）（ E, D ）	山田 耕筰
㉕	北秋の『沙羅』より（D, Des ）	信時 潔
㉖	行々子『沙羅』より（ Fis, F ）	信時 潔
㉗	浜千鳥（ Es, C ）	弘田 龍太郎
㉘	浜辺の歌（1,2番）（ As, F ）	成田 為三
㉙	ゆりかご（ E, D ）	平井 康三郎
㉚	むこうむこう（ F ）	中田 喜直

(2)自由曲:1 曲(4 分以内)。ただし、(1)の課題曲表以外の曲目とする。

※歌詞は原語で暗譜で歌うこと。
※日本歌曲、ミュージカルナンバー可* 。
※オペラ・アリアは原調で歌うこと。
※伴奏譜を出願書類と共に提出のこと(前奏、間奏、後奏のカット可。その他の部分のカットが記載されている場合は、本学で確認し、内容によっては訂正を求めることがある)。
※伴奏者は大学が用意する。

*ミュージカルナンバーについて
・訳詞による歌唱可。言語は限定しない。
・マイクの使用不可。
・伴奏譜は出版譜に限る。

2. 面接

本学を志望した理由について述べるほか、試験委員からの質問に答えること。

ピアノ

1. 実技試験

下記の専攻実技の課題を演奏すること。演奏箇所は当日試験委員が指定する。試験委員からの合図があるまで演奏すること。

すべて暗譜で演奏すること。
次のa課題またはb課題を選択すること。

a課題

(1)J. S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第1巻、第2巻より任意の1曲(プレリュードとフーガ)
※当日各自の抽選でプレリュードまたはフーガのどちらかの演奏になる場合がある。
(2)次の(イ)～(ホ)の練習曲集より任意の2曲(同一作曲家の組み合わせでなくても可)
(イ) モシュコフスキー Op. 72
(ロ) クレメンティ(タウジヒ編による29の練習曲より選択のこと)
(ハ) チェルニーOp. 740 (50番練習曲)
(ニ) モシェレス
(ホ) ショパン Op. 10, Op. 25 (Op. 10 No. 6, Op. 25 No. 7を除く)
(3)自由曲(自作品は不可。5 分以上 8分程度。複数曲可。楽章や曲目ごとの演奏時間を専攻別曲目記入票に明記すること)
省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

※(1)～(3)の順で演奏すること。

b 課題

自由曲(自作品は不可。12 分以上 17 分程度。1 曲または複数曲の組み合わせでもよい。楽章や曲目ごとの演奏時間を専攻別曲目記入票に明記すること)省略は認めない。
ただし、繰り返しはその限りではない。

2. 面接

本学を志望した理由について述べるほか、試験委員からの質問に答えること。

弦楽器

1. 実技試験

下記の課題曲表において、自身が志望する楽器名の課題欄に示す曲目を演奏すること。演奏箇所は当日試験委員が指定する。試験委員からの合図があるまで演奏すること。

■ヴァイオリン

(1)音階および分散和音

Carl Flesch ：Scale system (C. フレッシュ『スケール・システム』)より、任意の長調または短調を選び、第5、6、7、8 番を演奏する。運指の指定なし。

①第5 番は冒頭から12 小節目までを演奏する。♩=60 以上(スラーは下記の C-dur に準ずる)

②第 6,7,8 番は各々冒頭から 4 小節目までを、速やかに続けて演奏する。♪＝60 以上(スラーは 16 分音符 4 個以上とする。1 小節 2 弓でも可。下記の第 6 番参照)

(2)練習曲

P. Rode、J. Dont(Op.35)、N. Paganini の練習曲、カプリスより任意の 1 曲、または同程度もしくはそれ以上の難易度の任意の 1 曲

※N. Paganini のカプリスについては、No.17, 24 以外は、繰り返しなしで演奏すること。

(3)任意の協奏曲より第1楽章(カデンツァを含む)

※いずれの課題も暗譜で演奏すること。

※(3)の伴奏者は大学が用意する。伴奏譜を出願書類と共に提出すること(出版譜に限る)。

※演奏によりヴィオラに適正がありと認め得る受験者は、ヴィオラで合格となる場合がある。

※(1)～(3)の順で演奏すること。

■ヴィオラ

(1) 音階および分散和音
Carl Flesch ：Scale system より、任意の長調または短調を選び、第5、6 番を演奏する。運指、テンポの指定なし。
①第 5 番は冒頭から 12 小節目までを演奏する。
②第 6 番は冒頭から 4 小節目までを演奏する。(スラーは 16 分音符 4 個以上とする)

第5番

第6番

(2) B. Campagnoli ： 41 Caprices (B. カンパニョーリ『41 のカプリース』) から任意の 1 曲、または同程度もしくはそれ以上の難易度の任意の 1 曲
(3) 次の(イ)～(ハ)より任意の 1 曲
(イ) C. Stamitz ： ヴィオラ協奏曲ニ長調作品 1 より 第 1 楽章
(ロ) F. Hoffmeister ： ヴィオラ協奏曲ニ長調 より 第 1 楽章
(ハ) 上記の(イ)、(ロ)と同程度もしくはそれ以上の曲から 1 曲(版の指定なし)

※いずれの課題も暗譜で演奏すること。
※(3)の伴奏者は大学が用意する。伴奏譜を出願書類と共に提出すること(出版譜に限る)。
※ヴァイオリンによる受験可。出願書類の志望欄にヴィオラと記入し、ヴァイオリンの課題で受験すること。
※(1)～(3)の順で演奏すること。

■チェロ

(1) 音階
次の楽譜を演奏すること。運指の指定なし。

(2) 練習曲
次の(イ)～(ハ)より任意の 1 曲
(イ) D. Popper ： Hohe Schule des Violoncellspiels, op. 73 (ポッパー:40 の練習曲)
(ロ) J. L. Dupport ： 21 études (デュポール ： 21 の練習曲)
(ハ) A. Schroeder ： 170 foundation studies for violoncello, 2 (シュレーダー:170 の基礎練習 第2巻)

(3) 任意のチェロ協奏曲より第1楽章または最終楽章(カデンツァなし)

※いずれの課題も暗譜で演奏すること。
※(3)の伴奏者は大学が用意する。伴奏譜を出願書類と共に提出すること(出版譜に限る)。
※(1)～(3)の順で演奏すること。

■コントラバス

(1) 音階および分散和音
　次の楽譜を演奏すること。運指の指定なし。

(2) 下記のいずれかを選択すること。
　(イ) 任意のソナタより第 1 楽章と第 2 楽章
　(ロ) 任意の協奏曲より第 1 楽章または最終楽章

※オーケストラチューニング、暗譜で演奏すること。
※(2)の伴奏者は大学が用意する。伴奏譜を出願書類と共に提出すること(出版譜に準ずる)。
※(1)、(2)の順で演奏すること。

■ハープ

(1) F. J. Naderman ： 7 Sonates progressives, Op.92 より任意の第 1 楽章
(2) 自由曲(J. L. Dussek のソナタと同程度の難易度の作品)を 1 曲

※暗譜で演奏すること。伴奏なし。
※(1)、(2)の順で演奏すること。

■クラシックギター

(1) F. Sor または H. Villa-Lobos の練習曲より任意の 1 曲
(2) 自由曲 1 曲

※暗譜で演奏すること。伴奏なし。
※(1)、(2)の順で演奏すること。

2. 面接

本学を志望した理由について述べるほか、試験委員からの質問に答えること。

管楽器

1. 実技試験

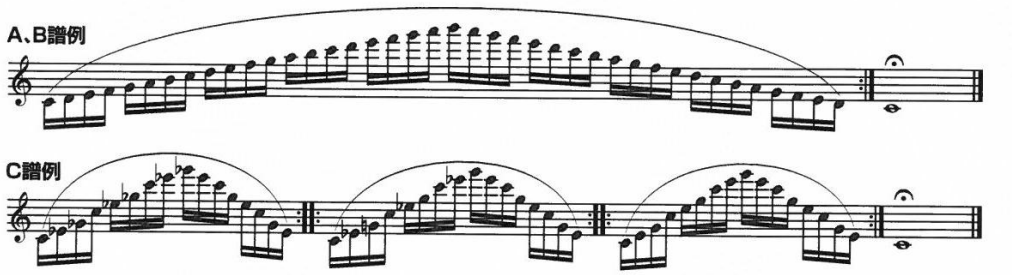
下記の課題曲表において、自身が志望する楽器名の課題欄に示す曲目を演奏すること。演奏箇所は当日試験委員が指定する。試験委員からの合図があるまで演奏すること。

木管楽器

■フルート

(1) 音階と分散和音

M. Moyse ： Exercises journaliers pour la flûte(M. モイーズ『フルートのための日課練習』)より長音階(A)、短音階(B)、分散三和音(C)を演奏する。♩≒ 60(譜例参照)



(2) Paganini ： 24 Caprices Opus 1(パガニーニ:24 のカプリス 作品 1)より No.7(繰り返しなし)
Herman=Wummer 編の International 版(フルート譜)を使用すること

(3) W.A. Mozart ： フルート協奏曲第 2 番二長調 K. 314 より第 1 楽章および第 2 楽章(カデンツァは含まない)。版の指定なし。

※暗譜の必要なし。楽譜を使用する場合は、紙のものを用意すること(電子楽譜は使用不可)。
※(1)(2)(3)それぞれ演奏箇所は当日指定する。
※(3)の伴奏者は大学が用意する(楽譜の提出不要)。前奏は 1 楽章:Solo の 4 小節前より、2 楽章:Solo の小節前より始める。

■オーボエ

(1) 音階

次の A、B いずれかの音型によって長音階と短音階(和声的)を演奏すること。調性、スラー等は当日指定する。暗譜で演奏すること。

(2) F. W. Ferling ： 48 Etudes, Op.31(F. W. フェルリング『48 のエチュード』) No. 1-8 の中から当日指定する。

※(2)は版の指定なし。暗譜の必要なし。楽譜を使用する場合は、紙のものを用意すること(電子楽譜は使用不可)。

■クラリネット

(1)音階
R. Eichler ： Scales for Clarinet より各調の1番をスラーで演奏すること。調性は当日指定する。暗譜で演奏すること。
(2)エチュード
① E .Cavallini ： 30 Capricci(Ricordi)より No. 17, 19 の 2 曲。演奏箇所は当日指定する。
② C. Rose ： 32 Etudes(Leduc または全音楽譜出版社)より No. 19, 21 の 2 曲。
演奏箇所は当日指定する。
(3)楽曲
C.M.von Weber：Concertino op.26(出版社は問わない)。
前奏は Solo の 3 小節前より始める

※(2) (3)は暗譜の必要なし。楽譜を使用する場合は、紙のものを用意すること(電子楽譜は使用不可)。
※(3)伴奏者は大学で用意する(楽譜の提出不要)。

■ファゴット

(1)音階
次の音型によって、長音階と短音階(和声的)を演奏すること。調性、スラー等は当日指定する。暗譜で演奏すること。

(2)J. Weissenborn ： Fifty Bassoon Studies, Op.8. Vol.2 の No.1-15 より当日2曲を指定する。
(3)J. Weissenborn ： Fifty Bassoon Studies, Op.8. Vol.2 の No.22-43 より任意の1曲

※(2) (3)は暗譜の必要なし。楽譜を使用する場合は、紙のものを用意すること(電子楽譜は使用不可)。

■サクソフォーン

アルト・サクソフォーンで受験すること。
(1)音階
次の音型によって、長音階と短音階(和声的)をスラーで演奏すること。調性は全調の中から当日指定する。暗譜で演奏すること。繰り返しなし。

(2)F. W. Ferling ： 48 études pour tous les saxophones(F. W. フェルリンク『サクソフォンのための 48 の練習曲』[M. ミュールによる増補改訂版] A. Leduc)より、任意の奇数番号 1 曲と任意の偶数番号 1 曲の計 2 曲を演奏すること。
(3)自由曲 1 曲 (編曲作品可。抜粋の場合は、楽章等を専攻別曲目記入票に明記すること)

※(2) (3)は暗譜の必要なし。伴奏なし。楽譜を使用する場合は、紙のものを用意すること(電子楽譜は使用不可)。

金管楽器

音階および分散和音
ホルン、トロンボーン、テューバ共通課題

次の例にしたがって、長音階と短音階(和声的または旋律的)を暗譜で演奏すること。調性、音域は当日指定する。

■ホルン

(1) 音階および分散和音 (前掲の譜例参照)
調性、音域は当日指定する。
(2) W. A. Mozart : ホルン協奏曲 第3番 変ホ長調 K.447 より 第 1 楽章(カデンツァなし)。前奏は Solo の 4 小節前より始め、それ以降のカットなし。

※(2)は暗譜の必要なし。楽譜を使用する場合は、紙のものを用意すること(電子楽譜は使用不可)。
※(2)の伴奏者は大学が用意する(伴奏譜の提出不要)。

■トランペット

(1) Théo Charlier : 36 études transcendantes (Alphonse Leduc 版) より No.2 “Du style”
(2) 以下の 4 曲より 1 曲を選択し演奏。
①Théo Charlier : Solo de concours (Schott 版)
②Camille Saint-Saëns : Fantaisie en mi bémol (Alphonse Leduc 版)
③Roger Boutry : Trompetunia (Alphonse Leduc 版)
④André Chailleux : Morceau de concours (Alphonse Leduc 版)

※暗譜の必要なし。楽譜を使用する場合は、紙のものを用意すること(電子楽譜は使用不可)。
※(2)の伴奏者は大学が用意する(伴奏譜の提出不要)。

■トロンボーン

(1) 音階および分散和音 (前掲の譜例参照)
調性、音域は当日指定する。

(2) 次のトロンボーン課題またはバス・トロンボーン課題を選択すること。

●トロンボーン
① J. Rochut : Melodious Etudes for Trombone. Book 1. Edited by Alan Raph (C. Fischer) より No.8
② G. Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (G. コプラッシュ『60 のエチュード(トロンボーン)』(全音楽譜))より No.15, No.40

※繰り返しなし。暗譜の必要なし。楽譜を使用する場合は、紙のものを用意すること(電子楽譜は使用不可)。

●バス・トロンボーン
① J. Rochut : Melodious Etudes for Trombone. Book 1. Edited by Alan Raph (C. Fischer) より No.1をオクターブ下で演奏すること。
② O. Blume : 36 Studies for Trombone with F Attachment (C. Fischer) よりNo.5, 25

※暗譜の必要なし。楽譜を使用する場合は、紙のものを用意すること(電子楽譜は使用不可)。

■テューバ

(1)音階および分散和音（前掲の譜例参照）
　調性、音域は当日指定する。
(2)練習曲
　以下の中から当日指定する。いずれも途中でカットする場合がある。
　G. Kopprasch ： 60 Selected Studies(R. King Music) No.10, 12, 16, 20, 23
　M. Bordogni ： 43 bel canto studies(R. King Music) No.1, 4, 7

※暗譜の必要なし。楽譜を使用する場合は、紙のものを用意すること(電子楽譜は使用不可)。

■ユーフォニアム
(1)後藤文夫 ： 無伴奏ユーフォニアムのための 24 のカプリスより No.14
　(風の音ミュージックパブリッシング)
(2)以下の4曲より1曲を選択し演奏。
　①J.B.Arban ： Variation on a Song ″Vois-tu la neige qui brille(The Beautiful Snow)(「輝く雪」の歌による変奏曲)前奏なし。(Arban's Complete Method 所収)
　伴奏者使用楽譜は J.B.アーバン『12 の幻想曲とアリア』No. 5(IRS Collection、全音楽譜)
　②P.V.De la Nux ： Concert Piece for Trombone or Baritone and Piano (Southern Music Company)
　③B.Appermont ： The Green Hill(Beriato Music)
　④Philip Sparke ： Variation on an English Hymn Tune(Anglo Music)

※(1)(2)は暗譜の必要なし。楽譜を使用する場合は、紙のものを用意すること(電子楽譜は使用不可)。
※(1)(2)のいずれも途中でカットする場合がある。
※(2)の伴奏者は大学が用意する(伴奏譜の提出不要)。

2. 面接
本学を志望した理由について述べるほか、試験委員からの質問に答えること。

打楽器

1. 実技試験

ティンパニ、小太鼓、マリンバのいずれかの課題で受験すること。
下記の専攻実技の課題を記載の順で演奏すること。演奏箇所は当日試験委員が指定する。試験委員からの合図があるまで演奏すること。
※暗譜の必要なし。楽譜を使用する場合は、紙のものを用意すること(電子楽譜は使用不可)。

■ティンパニ

(1)ロール　pp ＜ ff ＞ pp　(30 秒以上) 音程は当日指定する。
(2)R. Hochrainer ： Etüden für Timpani. Heft 1(Doblinger) No.19, 26, 34, 39, 43, 44 より当日指定する。
(3)簡単な初見演奏
(4)小太鼓による 2 つ打ち(響き線ありで演奏すること。楽器は各自持参のこと)
(5)マリンバによる 2 オクターヴの長音階と短音階。調性は当日指定、音型は自由とする。ただし、長音階は繰り返しあり、短音階は和声的短音階と旋律的短音階を演奏する。

■小太鼓

(1)2 つ打ち、ロール　pp ＜ ff ＞ pp　(30 秒以上) 響き線ありで演奏すること。楽器は各自持参のこと。
(2)A. J. Cirone ： Portraits in Rhythm. No. 3, 4, 12, 13, 30, 32 より当日指定する。
(3)簡単な初見演奏
(4)マリンバによる 2 オクターヴの長音階と短音階。調性は当日指定、音型は自由とする。ただし、長音階は繰り返しあり、短音階は和声的短音階と旋律的短音階を演奏する。

■マリンバ

(1)3 オクターヴの長音階、短音階、分散和音。調性は当日指定、音型は自由とする。ただし、長音階は繰り返しあり、短音階は和声的短音階と旋律的短音階を演奏する。
(2)M. Goldenberg ： Modern School for Xylophone, Marimba, Vibraphone (Alfred Music)の
39 Etudes の V(5 番), XV(15 番), XVIII(18 番), XIX(19 番), XX(20 番)より当日指定する。
※V(5 番)は繰り返しなし
(3)自由曲(伴奏なし)
(4)簡単な初見演奏
(5)小太鼓による 2 つ打ち(響き線ありで演奏すること。楽器は各自持参のこと)

2. 面接

本学を志望した理由について述べるほか、試験委員からの質問に答えること。

13. 注意事項

■受験上の注意

①試験当日の集合時間など受験に関する詳細は、試験初日の 3 日前までにメール等で通知しますので、必ずご確認ください。試験日時・会場に関する電話やメールでのお問合せはご遠慮ください。
②試験当日の大まかな流れは原則として以下のとおりです。定められた時刻までに集合場所に集合し、以降はすべて係員の指示に従ってください。　集合・受付 → 直前練習 → 試験
③実技試験において集合時刻に遅れた者は受験を許可しません。やむを得ない事情（公的事情）により遅刻をした場合は、直ちに係員に申し出てください。
④入試期間中、受験者はキャンパスの練習室を無料で利用することができます。各自の専攻実技試験終了後は使用できません。予約方法等の詳細は、メール等でお知らせします。
⑤試験当日に持参するもの
・受験票（各自で忘れずに印刷してください。受験票を持たない者は入構できません）
・筆記用具
・必要な楽器、スタンド等
※コントラバス、ハープ、テューバ、ティンパニ、鍵盤打楽器以外の貸出しはしません。
・昼食（試験が昼食時間におよぶ場合）
・楽譜
・時計
※辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものは不可。
※携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末は使用できません。
⑥保護者の入構はできません。
⑦服装については、特に指定しません。

【入試期間中の宿泊について】

空きがある場合、大学近郊の学生会館（有料）を利用できます。体験入寮のため、特別料金で連泊可能です。
ご希望の場合は、以下へお問い合わせください。

㈱共立メンテナンス 学生会館事務局
℡ 0120-88-1030
受付時間 9:00～17:30（土日・祝日を除く）
お電話の際、東京音楽大学の受験者であることをお伝えください。
＊宿泊施設には防音設備のついた練習室はありません。
＊部屋数には限りがあるため、空室のある寮へのご案内になります。詳しくはお電話で確認の上、各自お申し込みください。
＊宿泊施設での事故等の責任は大学では負いかねます。

■出願書類の記入・提出に関する注意

Web 出願サイトでユーザー登録を行った後、本学ホームページから必要書類を印刷します。印刷した出願書類とそれ以外の必要書類（志望理由書、履歴書等）は、すべて揃っていることを確認の上、レターパックに封入し、宛名ラベル（Web 出願サイトにて印刷）を貼り付けた上で、期限内に郵送にて提出してください。本学の窓口では受け付けません。出願後の提出書類の変更は認めません。また、提出された書類は返還しません。

出願書類の記入については、以下の注意事項をよく読み、誤りや漏れのないよう記入してください。

①各出願書類は、黒、青インクまたはボールペンを使用し、文字は楷書で、数字は算用数字で正確に記入してください。書き損じた場合は、二重線を引いて訂正印を押し、空いているところに記入してください（修正液・修正テープは使用しないでください）。

②該当欄は記入または○で囲んでください。※欄は記入不要です。

③願書および受験票には Web 出願サイトでアップロードした写真が用いられます。Web 出願サイト上の注意事項「顔写真について」の記載に従って撮影したものをアップロードしてください。

④伴奏譜について

声楽、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスを志望する志願者は、伴奏譜を出願書類に同封してください。伴奏譜の作成方法等は「伴奏譜の提出について」を参照してください。

⑤曲目記入票について

(1)演奏する曲名、作曲者、調性、作品番号、楽章等まで該当する欄に詳しく記入してください。
(2)作品番号は、「Op.30 No.2」のように明確に、漏れのないよう記入してください。
(3)楽章等の記入は、「第1楽章」「第2楽章」と「第」を入れて記入してください。
(4)曲目等の記入は、特に指定がなければ、邦語、原語どちらでも構いません。
(5)ピアノ自由曲で一部省略する場合は、その箇所を記入してください。
(6)出願後は、受験曲名、調の変更（訂正）は認めないので、間違いのないように正確に記入してください。
(7)曲目記入票に記入された事項（作曲者、曲目、調性、平均律巻名、楽章等）が試験で演奏したものと異なる場合、原則として失格になりますので注意してください。

※個人情報の取り扱いについて

①本学は、志願者の出願書類に記載された個人情報および入学試験の成績を入学試験業務に利用します。なおこれらの個人情報は個人情報保護法に則り万全の体制で管理します。

①本学は、上記の個人情報を大学入学者選抜および大学教育の改善のための調査・研究や学術研究の資料としても利用します。調査・研究結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。

③本学は、願書記載事項のコンピュータ登録業務、受験票、合格証、入学手続書類等の発送の業務を、個人情報の適切な取り扱いに関する契約を締結した上で、外部の事業者に委託する場合があります。

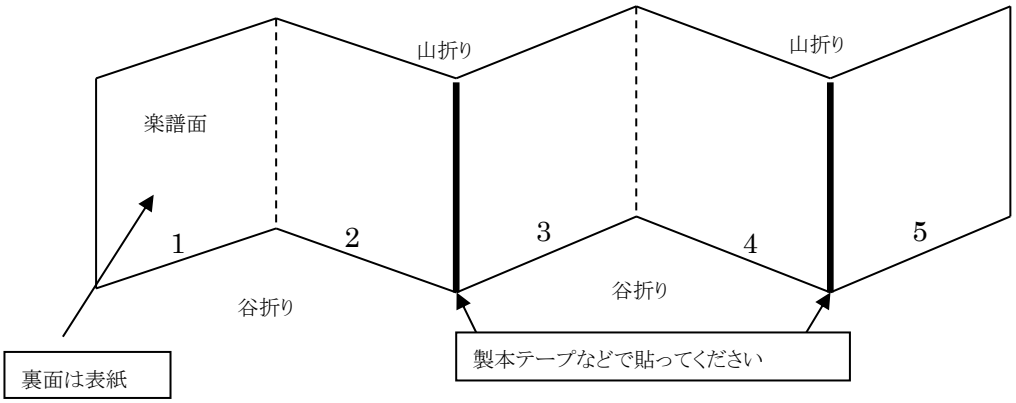
■伴奏譜の提出について

以下の①～③に該当する場合のみ伴奏譜を出願書類と共に提出してください。

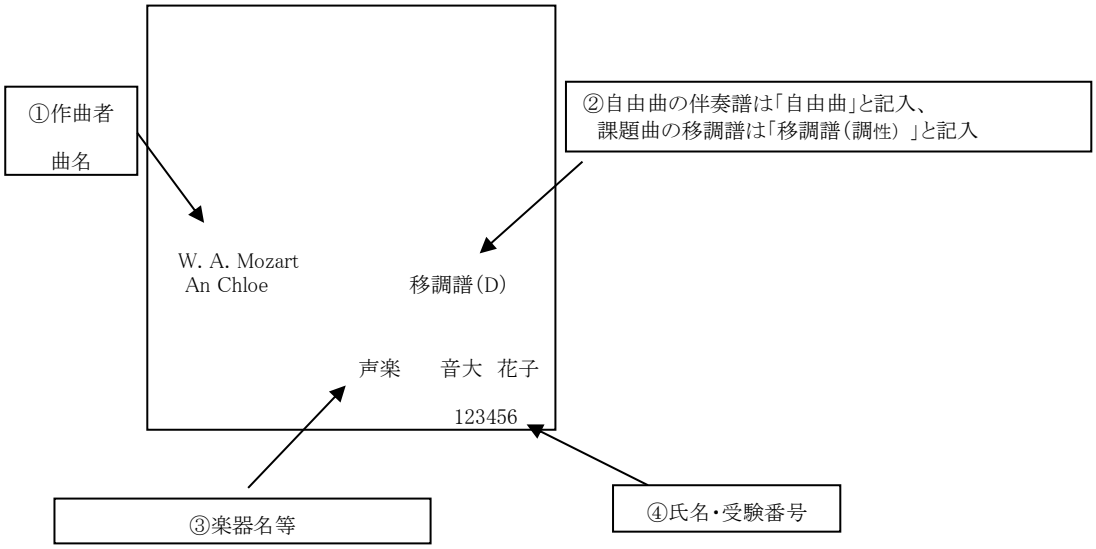
①声楽の自由曲
②声楽課題曲で課題曲表のカッコ内に記入してある調以外で受験する場合の移調譜
（課題曲カッコ内の調で受験する場合は、伴奏譜の提出は必要ありません）
③ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスの自由曲

○伴奏譜作成手順

①楽譜は A4 判縦を 1 ページとし、コピーの濃淡等を調整の上、鮮明な楽譜を提出してください。
②1曲ごとに表紙にあたる白紙ページを設け、表紙ページの右下に①作曲者、曲名、②自由曲伴奏譜、移調譜の区別、③楽器名等、④氏名を記入してください。
③2ページ以上になる場合は、アコーディオン状に折って、製本テープ等で貼ってください。
④課題で指定された省略（前奏、間奏、後奏）を書き込む場合は、赤インクのペン等でわかりやすく記入してください。それ以外の書き込みは不可とします。
⑤手書きの伴奏譜を作成する場合は、定規等を使用し、黒インクのペン等で正しく丁寧に清書した譜面を提出してください（鉛筆書きは不可）。



＜表紙の書き方＞※裏面は楽譜１ページ目



■入学者選抜試験における不正行為について

※ 一般科目等履修生試験の受験における不正行為についてもこの取扱いに準じます。

受験の際には、すべて試験監督の指示に従ってください。 以下に該当する場合、不正行為とみなされます。

① 出願の際に本学に提出した書類・資料等に偽造、虚偽の記載、剽窃が見つかった場合
② 受験者以外の者が、 受験者本人になりすまして試験を受けた場合

また、以下の行為をすると、不正行為とみなされる場合があります。

- カンニング（カンニングペーパーや参考書、他の受験者の答案を見ること、他の受験者から答えを教わること等)をすること。
- 使用を認められていない用具を使用すること。
- 試験開始の合図の前に問題冊子を開き、解答を始めること。
- 試験終了の合図の後に筆記用具や消しゴムを持ち続ける、または解答を続けること。
- 試験時間中に、他の受験者に答えを教えるなど、他の受験者を利する行為。
- 試験時間中に、他の受験者に迷惑となる行為。
- 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、タブレット、携帯音楽プレーヤー、 ウェアラブル端末（眼鏡型・腕時計型等)、イヤホン等を身につける、作動させること。
- 試験期間中に、本学構内において入学者選抜試験に関する問題および解答用紙、試験室・控室等の会場、掲示物等を写真または動画で撮影する行為、またはそれらをSNS等インターネット上へ掲載する行為。
- 非対面式試験において、「同意書」に記載の内容に反する行為。
- 受験時の写真照合において、本人確認が困難となる程度の加工・修正を施した写真を用いて WEB 出願登録を行うこと。
- その他、試験の公平性を損なう行為。

試験実施中に不正行為と思われる行為が認められた場合、試験監督が注意し、試験の中止や退室を指示することがあります。不正行為の疑いに対処した時間があっても、その受験者は、試験時間の延長を求めることはできません。

不正行為と認められた場合、それ以降の受験はできなくなり、当該年度における本学のすべての入学試験の結果を無効とします。また、入学検定料は返還しません。

東京音楽大学

【中目黒・代官山キャンパス】
〒153－8622　東京都目黒区上目黒 1－9－1

【池袋キャンパス】
〒171－8540　東京都豊島区南池袋 3－4－5

ホームページアドレス　https://www.tokyo-ondai.ac.jp/

問い合わせ先：03－6455－2754（TEL）　日・祝日除く 9:00～17:00
03－6455－2774（FAX）
nyushi@tokyo-ondai.ac.jp（メール）